

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		農地中間管理事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040102000949	
総合計画の施策名		0401 農林業の振興				単独/補助	補助	所属課	050101 農林課	
政策体系	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						課長名		
	施策名	01 農林業の振興						グループ	農政G	
	手段名	02 ②農業の効率化推進						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	06	01	07	01	00	水田農業対策事業			
法令根拠	農地中間管理事業の推進に関する法律					単年度繰返し (平成24年度～)				
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地集積は毎年着実に進展しているところではあるが、農業の生産性を高め、競争力を強化していくためには、担い手への農地集積、集約を加速し、生産コストを削減していく必要がある。 このため、本事業により、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約化を支援し、農業の競争力強化のために不可欠な農業構造の改革と生産コストの削減を促す。 地域集積協力金交付事業 集約化奨励金交付事業 	<ul style="list-style-type: none"> 借受け希望者の受付 貸付け希望者の受付 農地中間管理機構との委託契約 農業委員会への意見聴取 補助金交付申請 補助金交付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 借受け希望者の受付 貸付け希望者の受付 農地中間管理機構との委託契約 農業委員会への意見聴取 補助金交付申請 補助金交付 	認定農業者数	人	244.00	234.00	235.00	235.00	235.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 農用地等の借受け希望者 農用地等の貸付け希望者 	借受希望者数	人	32.00	13.00	50.00	50.00	50.00
	貸付希望者数	人	12.00	13.00	50.00	50.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 農地集積による生産コストの削減。 	貸付締結者数	人	34.00	17.00	50.00	50.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	29	14	3,030	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	
	事業費計 (A)	千円	29	14	3,030		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	14		10 需用費	30	
				12 委託料	3,000	
		合計	14		合計	3,030

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> 借受け希望者の受付 貸付け希望者の受付 農地中間管理機構との委託契約 農業委員会への意見聴取 補助金交付申請 補助金交付 	<ul style="list-style-type: none"> 借受け希望者の受付 貸付け希望者の受付 農地中間管理機構との委託契約 農業委員会への意見聴取 補助金交付申請 補助金交付 	<ul style="list-style-type: none"> 借受け希望者の受付 貸付け希望者の受付 農地中間管理機構との委託契約 農業委員会への意見聴取 補助金交付申請 補助金交付

	・補助金交付	・補助金交付	・補助金交付		
事務事業名	農地中間管理事業	事務事業No.	40102000949	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ ・農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの課題が生じている状況を受け、国が平成25年12月に策定した「農林水産業・地域の活力創造プラン」において、農地の有効利用や農業経営の効率化を進めるため担い手へ農地の集積を推進する方針が示された。 ・さらに、担い手への農地集積、集約化を図るため、平成26年4月1日に茨城県農林振興公社が農地中間管理機構に指定された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・契約年数を原則10年間以上としていることから、借受希望者からもう少し短縮したいとの要望が見受けられる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・担い手への農地集積、集約化を加速し、生産コストを削減することが目的であるため、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・農地中間管理機構の業務を市町村が受託することになっているため、市が行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・現在の業務の範囲において最大限の成果を発揮しており、向上余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・農地集積が進まず経営体の農業経営が不安定になるため、廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・類似事業がないため、統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・必要最小限の事業費及び時間で実施しているため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・法令に基づき実施しているものであり、公平、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・農業従事者の高齢化等により農地の貸付希望が増加し、農地中間管理機構を活用した担い手への集積が向上した。 ・次年度以降も農地中間管理機構を活用し、農地集積を推進していく。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------